

ふくしまブルーリスト(侵略的外来種リスト)

(6) 昆虫類

No.	目	科名	和名	学名	特定外来生物	(環境省) 生態系被害防止外来種リスト区分	国内外来種	県内分布	県内の被害状況	福島県対策優先カテゴリー	被害の深刻度に関する基準	対策事例	備考
1	アザミウマ目	アザミウマ科	ミカンキイロアザミウマ	<i>Frankliniella occidentalis (Pergande)</i>				福島市、会津美里町、湯川村、いわき市など県内全域から記録されている。北塩原村といわき市で確認した。	栽培キク、トマト、キュウリ、イチゴなど多くの作物で被害が確認されている	その他の総合対策外来種	④	福島県農業総合センター生産環境部作物保護科による資料「県内で採集したキクのアザミウマ類に対する各種薬剤の殺虫効果」において、福島市（ハウス）、あいづ美里町、湯川村（ハウス）、いわき市での事例が示されている。	日本の侵略的外来種ワースト100、TSWV、INSVの種別である。
2	アザミウマ目	アザミウマ科	ネギアザミウマ	<i>Thrips tabaci Lindeman</i>				県内では広く記録されている。会津地方南会津地区における分布は不明だが、尾瀬ヶ原（福島県域か群馬県域かは不明）からは記録されている。	農作物に甚大な被害を生じさせるオルトスロウイルスのベクターである。ネギ、タマネギなどの野菜類、各種の果樹、花卉（トルコギキョウ）の被害は特に甚大である。県内においては、ネギやアスパラガスなどで被害が見られる。ネギでは葉を中心にカスリ状の白斑を生じる。萌芽直後のアスパラガス若菜に多数寄生すると茎が屈曲することがある。また、軽微なようではあるが、YYSV（アイリス黄斑ウイルス）によるトルコギキョウやネギ属作物への被害が生じている。	その他の総合対策外来種	④	県農業総合センターが各種薬剤の殺虫効果を公表するなど、対策を講じている。	中央アジア起源とされ、タマネギや花卉類とともに世界中に拡がった可能性が高いとされる。
3	アザミウマ目	クダアザミウマ科	カキクダアザミウマ	<i>Ponticulothrips diospyrosi Haga and Okajima</i>				福島市（福島大学金谷川キャンパス内及びその周辺域）から記録されている。1988年に県内初記録。その後、1996年までに南会津地区を除く全県から記録されており、現在はすでに県内全域に分布しているものと思われる。	カキの展葉し始めた葉に虫こぶ（葉巻状の虫こぶ）を形成し、その内側に産卵する。成虫と幼虫は葉を加害し、幼虫は効果（子房と「へた」の間隙に侵入）も加害し、加害痕を生じさせ、商品価値を低下させる。	その他の総合対策外来種	④	県果樹試験場や農林事務所から発生生態と防除に関する情報が発信されている。	1975年に岡山県で発見されるまで、カキの被害はなかったため、外来種と考えられているが、これまでに国外からの記録はない。
4	カメムシ目	グンバイムシ科	アワダテソウグンバイ	<i>Corythucha marmorata (Uhler)</i>				県内全域。現認（相馬市、南相馬市、伊達市、福島市、三春町）。	福島県病害虫防除所から平成20年度病害虫発生予察特殊報第3号が発出されており、栽培ヒマワリやキクでの被害が報告されている。	その他の総合対策外来種	④		
5	コウチュウ目	カミキリムシ科	ソヤハダゴマダラカミキリ	<i>Anoplophora glabripennis (Motschulsky)</i>				中通りを中心に浜通り、会津の一部、県北、県南地域を中心に20市町村で発生が確認されている。（伊達市豊山町、月舘町、柳川町、白河市南湖森林公園）	トチノキ、カツラを中心に、ヤナギ類などで被害が確認されている。	緊急対策外来種	①④	被害が確認された街路樹等の伐採。	世界の侵略的外来種ワースト100、福島県ホームページによる情報（ https://www.pref.fukushima.jp/sec/16035b/kubiakutyakamiki.html ）
6	コウチュウ目	カミキリムシ科	サビイロクワカミキリ	<i>Apriona swainsoni swainsoni (Hope)</i>				県中地域を中心に県内19市町村（福島県HP）、現認（郡山市、猪苗代町）。	イヌエンジュ、エンジュ（猪苗代町ではイヌエンジュのみで確認）。民家敷地内、農地、市街地に植栽されたイヌエンジュを主に食害する。郡山市を中心に19市町村で生息が確認されている。なお、会津地方南部では、下郷町でのみ生息が確認されているが、隣接する南会津町のほか、柳津町、三島町、金山町、昭和村、只見町におけるイヌエンジュの植栽木では確認されていない。	緊急対策外来種	①④	被害が確認された街路樹等の伐採。	福島県ホームページによる情報（ https://www.pref.fukushima.jp/sec/16035b/kubiakutyakamiki.html ）
7	チョウ目	タテハチョウ科	アカボシゴマダラ	<i>Hestina assimilis (Linnaeus)</i>	○	重点対策外来種		【示通り】いわき市(小名浜・下神白・平・常磐源町・山田町・楨田町)、糠業町(山田)、富岡町(本町日向)、川内村(五社山)・現認(南相馬市) 【中通り】福島市(吉川・山口・飯野町・井天山)、郡山市(遠瀬町)、須賀川市(窪森・滝)、伊達市(梁川町)、田村市(船引町)、玉川村(南浜館)、矢吹町(井戸尻・三城目・田村・住吉)、吉野町(芝山・鎌倉高)、石川町(北町) 【会津】喜多方市(慶徳町)、猪苗代町(川桁)	在来種のオオムラサキ、ゴマダラチョウ、テングチョウなどと食樹(エノキ)を同じくするが、現在の所競合等による影響は見られない。しかし更なる分布域と個体数の拡大次第では在来種への影響も懸念される。	重点対策外来種	①	採集駆除	中国大陸及び朝鮮半島由来の名義タイプ亜種。本県では2013年猪苗代町川桁における記録が初めて報告された。
8	チョウ目	ヒトリガ科	アメリカシロヒトリ	<i>Hyphantria cunea</i>				全国的に分布しているものと思われる。	街路樹、庭木として利用される広葉樹を広く幼虫が食害する。福島市内では特にサクラ類、オニグルミなどの食害が甚大。	その他の総合対策外来種	①	幼虫は極めて広食性で、街路樹や庭木などを食害するため、各自治体から発生と注意喚起(防除依頼)に関する広報がされており、福島市と郡山市では2011年以降の誘致情報が県HPにて公表されている。	日本の侵略的外来種ワースト100
9	ハチ目	ミツバチ科	セイヨウオオマルハナバチ	<i>Bombus terrestris</i>	○	産業管理外来種		福島市、新地町、南相馬市、南会津町から記録されており、全国的に分布しているものと思われる。	在来マルハナバチ類との競集場所、エサ資源をめぐる競合によって、在来種の減少が生じる。また、それに伴って、在来種に受粉を依存する植物の繁殖率が低下する。	産業管理外来種		不明	日本の侵略的外来種ワースト100